

1月 イチゴ 栽培管理（2026）

アグリ技研（株）

日	生育期	肥培管理
1日	栄養成長期	天気予報は暖冬傾向の様です。
2日		栄養成長気味にならない様にしましょう。
3日		・定期的に「カル元気」や「有機カルトップ」の施肥
4日		。
5日		（カルシウムは月に2～3回5kg）
6日		・生育促進に「ウルル5号」5kg 灌水処理。
7日		・草勢維持に「コラーゲン・ラボ」500倍 灌水葉面散布
8日		。
9日		・根域充実に「アミクエ」5～7日置き5～10kg 灌水処理。
10日		・肥大促進に「ウルル18号」5kgや「ふとる」5kg 灌水処理
11日		
12日		ハウスの開放と同時に炭酸ガス施用
13日		（日中の濃度は450～500ppm）
14日		
15日	生殖成長期	・環境制御と同時に水管理と追肥の重要性
16日		・根域充実に「アミクエ」5～10kg 灌水処理
17日		・草勢維持に「コラーゲン・ラボ」500倍
18日		
19日		電照・前夜温（3時間のアップ）の調整で生育促進
20日		
21日		
22日		《この時期は、生殖成長気味でアミノ酸系を効かせる》
23日		・発根促進に「アミクエ」5～7日置き5～10kg 灌水処理。
24日		・定期的に「カル元気」や「有機カルトップ」の施肥
25日		。
26日		（カルシウムは月に2～3回5kg）
27日		・肥大促進に「ウルル18号」5kgや「カリっと」1kg
28日		
29日		
30日		・草勢維持に「コラーゲン・ラボ」の灌水や葉面処理
31日		
ポイント	品種や作型により生育差もかなり差が出て厳寒期で、株疲れや中休みとなる時期です。芯葉の展開位置や色・厚さを十分に把握して生育に応じた対策に努めましょう。	